

お知らせ

水産資源管理談話会報 42 号をお届けします。本号は、平成 19 年 7 月 26 日に「南極海鯨類捕獲調査(JARPA)の結果と今後の課題」をテーマとして開催された、第 55 回水産資源管理談話会の記録です。本会では、西脇茂利氏に「JARPA の調査の概要と背景」、後藤睦夫氏に「クロミンククジラの系群構造の解明」、坂東武治氏に「資源管理に有用な生物的特性値の推定」、田村 力氏に「南極海生態系における鯨類の役割の解明」、安永玄太氏に「南極海の環境変動が鯨類に与える影響の解明」、および Luis Pastene 氏に「JARPA の鯨類資源管理への貢献と今後の課題」を話題提供していただきました。本会は日鯨研の方に話題提供していただき、活発な議論が行われました。

また、本号に田中昌一氏による投稿論文「鯨資源の動態モデル」を掲載しました。

次回第 58 回資源管理談話会は、「人工種苗放流による資源の増殖と管理」をテーマに 9 月 26 日(金)に開催予定です。万障お繰り合わせの上、ご参加ください。

(北原 武)